

6. 投資型クラウドファンディングの活用事例

「ファンド型クラウドファンディングの活用事例」(発行者)

株式会社 Savon de Siesta 取締役会長 附柴 裕之 氏



1. はじめに

当社は Savon de Siesta という化粧品メーカーです。Savon は石鹸、Siesta はお昼寝という意味で、お昼寝をするときのような心地よいひとときをお届けしたいという思いを込めております。

2005年8月の創業後、2011年に企業化し、現在の従業員は18名です。

2. 事業紹介・コンセプト

当社は石鹸メーカーとしてスタートしており、象徴的な製品は、肌に優しいことを大切にしている、自然の素材を使った石鹸です。

当社のブランドは、「毎日の暮らしに、ココロがホッとするひととき」をお届けするというコンセプトを最も大切にしております。

当社の製品を使っていただく時間が、その人にとって一番安心してリラックスでき、ほっとする時間になってほしいという思いでスキンケア製品や日用雑貨などをお届けしておりますが、このコンセプトは大きく4つの要素に分解できます。

1点目は、安心して使い続けられることです。スタッフ自らがユーザーとなり、原料も作り方も価格設定も全て理解したうえで、自分たちが使い続けたいものをお届けしています。

2点目は、顔の見えるものづくりです。大規模メーカーの製品は、その背景に人の存在を感じにくい面があると思いますが、当社のように小さなメーカーの場合は、お客様との距離が非常に近くなります。また、原料を選ぶうえでも生産者の顔が見えるため、原料の生産者やその思いを当社のお客様にお伝えできる品質のものを選んでいきます。

3点目は、自然のものにこだわることです。本来、人間は自然と触れて生きていく存在ですが、都会で自然と離れた生活をしていると、生活や身体のリズムが狂うことが多々あります。それを自然な状態に戻すことができる製品づくりをしております。

そして4点目は、地元根付いた事業展開です。当社は札幌に拠点を置いておりますが、北海道は一般的なイメージのおり自然が豊かで、食料自給率は約200%、十勝に限ると約2,000%になるようです。こうした豊かな自然からもたらされる良質な素材を活用し、生産者・生産地域と協力して製品を製造しております。

原料の生産者には、単に原料を供給していただくだけでなく、生産背景や原料への思いなどを私たちに託していただき、当社から最終消費者にお伝えしております。

例えば北海道の下川町は、東京23区と同じ広さの森林をもち、森林づくりで町おこしをしていますが、この下川町とは、10年間ほど前から森林保全のための寄付や植樹、地元住民との交流をさせていただき、その地域の思いも製品を通してお届けしております。

3. 主な製品の紹介

1カ月以上の時間をかけてひとつずつ手づくりをしている固形石鹸が、当社の象徴となる製品です。また、自然の香りだけで作ったルームフレグランスがございますが、本日、札幌から会場に来る際に使用した飛行機の機内販売でも販売されております。

クレンジング、UVローション、シャンプー・リンスは、クラウドファンディングを活用して製品化いたしました。

4. 主な販路

当社製品の販路で最も売上げが大きいのは直営店での販売であり、全体の売上げの半分近くを占めています。直営店から半径10km程度の範囲に数千人のお客様がいて、非常に地元に着した会社です。

次いで、オンラインショップを通じて全国にお客様がいらっしゃいますが、こちらも数千人のリピーターの方々がおり、お客が多い地域ではイベント販売なども行っています。

また、約50店舗への卸販売や、他社向けのオリジナル製品、OEM供給、ホテルのアメニティとしてのご利用といったケースもございます。

5. ファンド型クラウドファンディングの活用

当社は2014年ごろからファンド型クラウドファンディングを活用しております。最初は、事業スタートに伴い工房を移転した際、移転後の運転資金を集めるために、クラウドファンディングを行いました。この時のファンドは、既に償還済みとなっております。

次に、UVローションとクレンジングの製品化のためにファンドを立ち上げ、さらにシャンプー・リンスの開発費用としてのファンドも組成いたしました。

また、先日、石鹸を増産するための4号・5号ファンドを立ち上げました。運営期間は4年です。

1回目のファンドは400万円の募集に約2カ月半かかりましたが、最後のファンドでは、1,000万円以上の募集が約25時間という非常に短い期間で締め切られました。当社を理解して応援してくださるファンの方が増えて、立ち上げたプロジェクトに対してすぐに応援者が集まってくださるようになったのを感じております。

銀行からの融資による資金調達も活用しておりますが、ファンドへの応募は銀行の融資判断に比べて判断が非常に速く、将来性も見据えて応募していただいているため、資金調達するうえで非常に助かっております。

現在、約330名の方々から出資いただいておりますが、当社を応援してリピーターユーザーになっていただく方が非常に多い点も、クラウドファンディングを利用するうえでのメリットだと感じます。